

■知床の森林づくり活動の考え方

1. 森林づくり活動予定地の選定条件

(1)アクセス ①林道が整備されていること ②林道から徒歩圏内(10分以内程度)の距離にフィールドがあること ③地形的に傾斜がゆるく、作業等の道具使用において安全な場所であること

(2)一定の面積があること:活動を継続的に行なっていくため、一定面積(約1～数ha程度)が確保されること
2. 森林づくり活動の目標

(1)将来目標 「多様な野生生物が生育・生息する森林」をめざし、針広混交林を基本とした森林づくりを行なう。

(2)中期目標 ①各予定地における森林計画上の施業方針・施業方法を基本とするが、森林の現況に応じた森林づくりを行なう。
②土場跡地等、造林地以外の箇所では、天然更新を期待した地ごしらえを行い、部分的な植樹、保育作業を継続的に行う。

(3)目標イメージ 知床観察教育林(ポンホロ沼)やオシンコシンの滝周辺天然林を針広混交林の目標イメージと想定する。
3. モニタリング調査の実施

生育状況の調査(毎木調査や実生等の林床調査等)やシカ対策防除等の効果検証調査など、モニタリング調査に一般の方々も参加してもらう。

■知床の森林づくり活動一覧表

1. 羅臼町側

No.	フィールド名/面積	林班・小班	調査地の概況	活動目標	森林づくり活動メニュー	活動適期	備 考
①	春荊古丹林道 1 2.0ha	209林班 ロ小班	ササ筋刈地 アカエゾマツ植栽地が隣接する。 周辺は、ミズナラ、トドマツ等の針広混交林	針広混交林の育成	①植樹 ②下刈り ③広葉樹稚樹のシカ防除作業 (ネット・チューブ巻き)	5・6月 9・10月	アクセス路に急傾斜の林道を通過しなければならない。春荊古丹川下流部はエゾシカ捕獲が禁止され、高密度の生息地となっている。 ③シカ防除の資材確保が課題
②	春荊古丹林道 2 7.4ha・ 21.7ha	208・ぬ・01 208わ	造林地 単層林 アカエゾマツ34年生	アカエゾマツ造林地の育成	保育間伐	8月～10月	今後調査の予定
③	精神川林道 1 3.2ha	216林班 に小班	草地 治山事業地で吹付けのイネ科草本が覆う 実生: <u>ダケカンバ</u> 、 <u>ケヤマハンノキ</u> 、 <u>ナナカマド</u> 、 <u>トドマツ</u>	針広混交林への誘導	①植樹イベント ②広葉樹稚樹のシカ防除作業 (ネット・チューブ巻き)	5・6月 9・10月	現地までの林道に一部崩壊が見られ、林道整備が必要。 ①植樹の際、苗木まわりのイネ科草本の除去が必要。 ③シカ防除資材確保が課題
④	精神川林道 2 6.7ha	215林班 い小班	造林地 単層林 アカエゾマツ26年生	アカエゾマツ造林地の育成	保育間伐	8月～10月	今後調査の予定

※実生の太字下線樹種は、周辺に母樹が確認されたもの。



■春荊古丹林道 1



■精神川林道 1



ダケカンバの実生:精神川林道 1



ケヤマハンノキとトドマツの実生:精神川林道 1

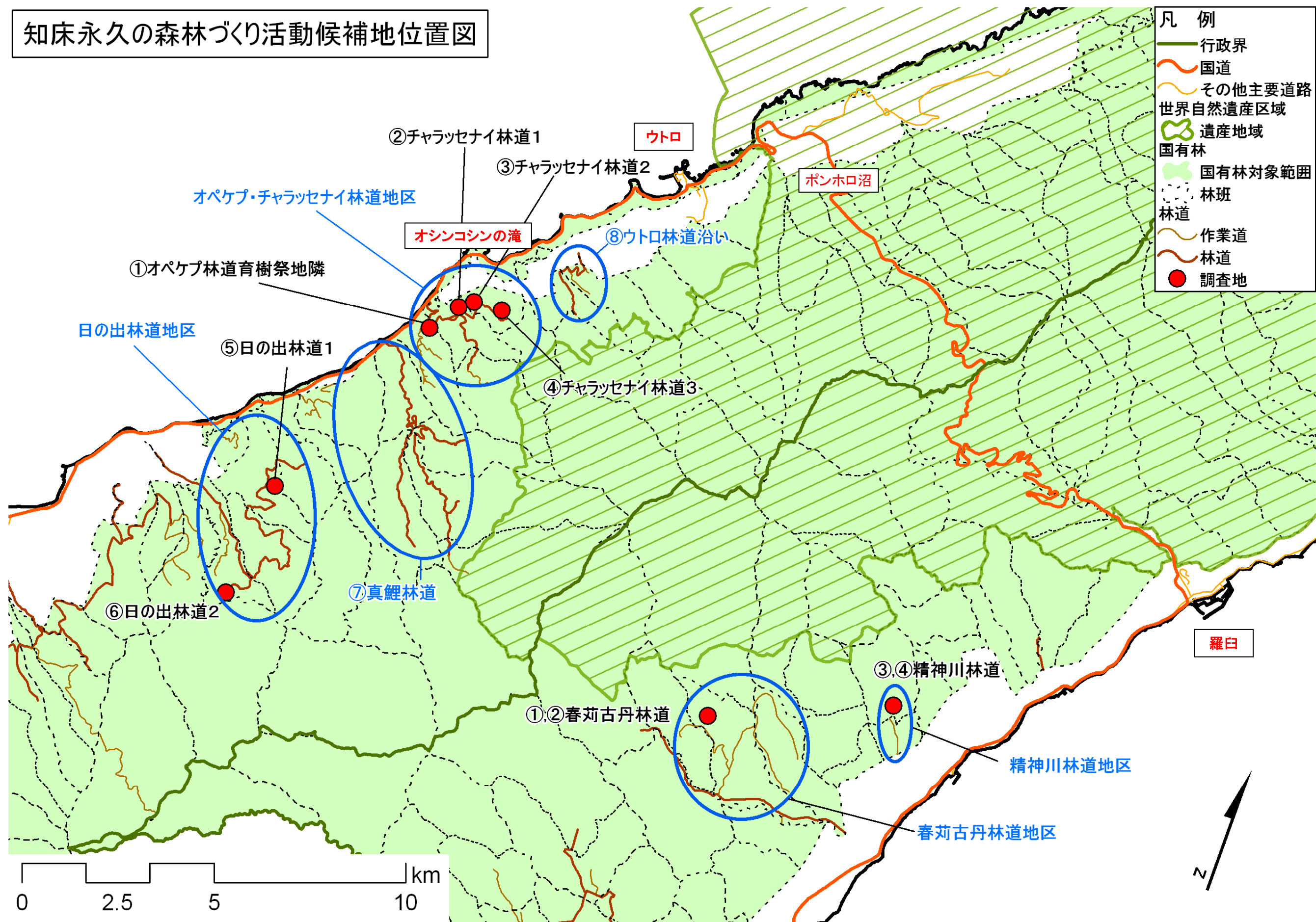
2. 斜里町側

※実生の太字下線樹種は、周辺に母樹が確認されたもの。

No.	フィールド名/面積	林班・小班	調査地の概況	活動目標	森林づくり活動メニュー	活動適期	備 考
①	オベケブ林道 育樹祭地隣 6.6ha	1302林班 へ小班	造林地 単層林 トドマツ37年生林 林内は暗く、間伐が必要な林分。	トドマツ複層林への誘導	①除伐及び保育間伐作業 ②つる切り作業 ※間伐作業は細い径のものが対象	8月～10月	知床における林業活動についてのPR、および理解促進
②	チャラッセナイ林道 1 4.7ha	1302林班 に小班	造林地 単層林 トドマツ36年生林 林内は暗く、間伐が必要な林分。 <u>イタヤカエデ</u> 、ナナカト等の実生は確認されたが、シカの樹皮はぎによる枯死木も見られた。	針広混交林への誘導	①除伐および保育間伐作業 ②つる切り作業 ③林内の広葉樹稚樹のシカ防除作業(ネット・チューブ巻き)	8月～10月	③企業等へシカ防除資材の提供協力の要請
③	チャラッセナイ林道 2 0.8ha	1304林班 い小班	残土処理地 実生: <u>トドマツ</u> 、タラノキ、 <u>ヤチダモ</u> 、 <u>ハウチワカエデ</u> 、カツラ、リウヅギ、サルナシ、 <u>ダケカンパ</u> 、 <u>キハダ</u>	針広混交林への誘導	①防鹿柵の設置【苗畑・ポット苗づくり】 ②天然下種更新の補助作業(草刈り) ③植樹 ④天然下種更新地と植樹地の比較観察(調査)	5・6月 9・10月	①防鹿柵の資材提供や労力提供に関するPR。 ②③植樹および天然下種更新地は、「地はぎ(機械施工)」が必要
④	チャラッセナイ林道 3 0.5ha	1304林班 は小班	草地 エゾシカの忌避植物であるハンゴンソウが優占。周辺は、河畔林を構成する樹種で囲まれる。 実生・稚樹: <u>ハルニレ</u> 、 <u>ヤチダモ</u> 、 <u>ケヤマハンノキ</u> 、 <u>イタヤカエデ</u>	河畔林への誘導	天然下種更新の補助作業として、①草刈 ②進入した広葉樹稚樹のシカ防除作業(ネット・チューブ巻き)	5月～8月	現地へのアクセスに沢を渡渉するための「丸太橋」整備が必要。②シカ防除資材提供に関するPR ※沢に近接し、環境教育フィールド適地
⑤	日の出林道 1 0.6ha	1222林班 そ小班	土場跡地:斜面地 ホオノキ、ミズナラ、トドマツ等の稚樹が他の草地等の調査地に比べ多く見られた。 稚樹(30cm以上): <u>イタヤカエデ</u> 、 <u>トドマツ</u> 、 <u>ミズナラ</u> 、オヒョウ、 <u>ホオノキ</u>	針広混交林への誘導	天然下種更新の補助作業として、①草刈 ②進入した広葉樹稚樹のシカ防除作業(ネット・チューブ巻き)	5月～8月	下草刈り、シカ防除資材設置作業が可能。 オホーツク海が眺望できる。
⑥	日の出林道 2 4.4ha	1219林班 ら小班	造林地 単層林 アカエゾマツ24年生林 林床はチマササ密生	アカエゾマツ造林地の育成	①ササ刈り作業 ②枝打ち ③除伐、保育間伐作業	8月～10月	①間伐作業にはササ刈りが必要だが、ササ刈りも活動メニューとした。
⑦	真鯉林道 (オンネベツ川沿い) — ha	—	林道入口から決壊しており、森林の状況を把握できていない	—	(保育等)	—	林道修復したのち、現地調査を予定
⑧	ウトロ林道沿い — ha	—	林道は天然林が主体だが、30年生前後の整備された造林地が点在している。 今年度調査は実施していないが、巨木、眺望地点が確認されている。	—	(保育等)	—	整備の行き届いた造林地があり、将来的に国民参加の森林づくり活動のフィールドになる可能性があるため調査が必要



知床永久の森林づくり活動候補地位置図



知床森林づくり活動目標林のイメージ

知床自然観察教育林(ボンホロ沼)

林班小班	林種	樹種	面積歩合(%)	林齢
1318林班い小班	天然林	天トド	39	85
		天エゾ	5	85
		ミズナラ	14	85
		ダケカバ	3	85
		シナノキ	17	85
		他広葉樹	22	85
		N(針葉樹)	44	
		L(広葉樹)	56	
林班小班	林種	樹種	面積歩合(%)	林齢
1318林班は小班	天然林	天トド	25	85
		他針葉樹		
		ミズナラ	14	85
		ダケカバ	31	85
		シナノキ	4	85
		他広葉樹	26	85
		N(針葉樹)	25	
		L(広葉樹)	75	



オシンコシン周辺天然林

林班小班	林種	樹種	面積歩合(%)	林齢
1377林班は小班	天然林	天トド	25	85
		イチイ	1	85
		他針葉樹		
		ミズナラ	10	85
		シナノキ	29	85
		他広葉樹	35	85
		N(針葉樹)	26	
		L(広葉樹)	74	
林班小班	林種	樹種	面積歩合(%)	林齢
1377林班い小班	天然林	天トド	38	85
		天エゾ	4	85
		イチイ	2	85
		他針葉樹		
		ミズナラ	8	85
		ダケカバ	1	85
		シナノキ	20	85
		他広葉樹	27	85
		N(針葉樹)	44	
		L(広葉樹)	56	
林班小班	林種	樹種	面積歩合(%)	林齢
1377林班れ小班	天然林	天トド	20	85
		天エゾ	59	85
		イチイ	4	85
		他針葉樹		
		カツラ	5	85
		ホオノキ	2	85
		イタヤ	1	85
		センノキ	8	85
		他広葉樹	1	85
		N(針葉樹)	83	
		L(広葉樹)	17	

